



2024年9月期 第1四半期 決算概要

(2023年10月1日～2023年12月31日)

シミックホールディングス株式会社

2024年1月31日

グループ事業内容

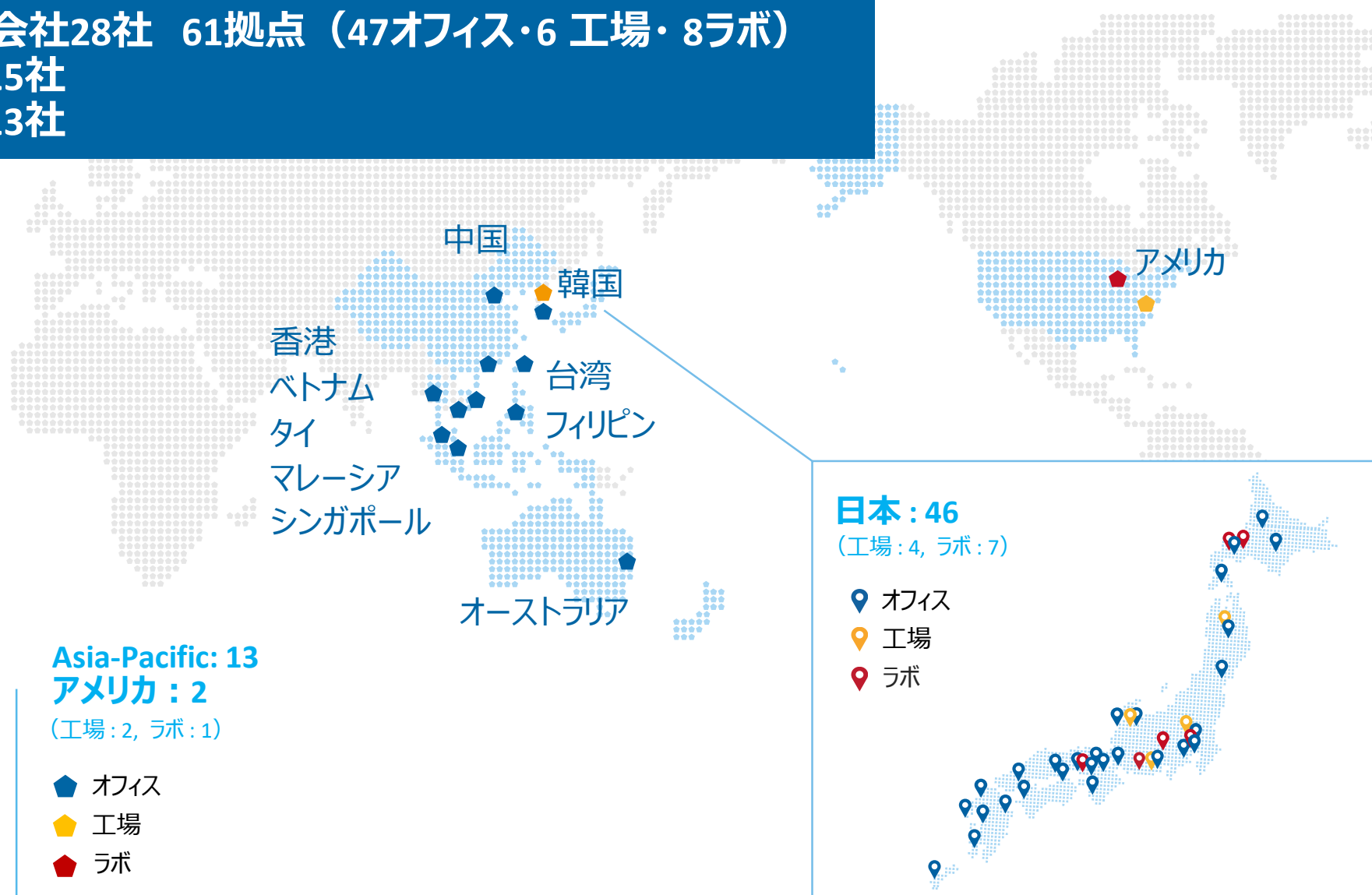


グループ拠点展開



グループ会社28社 61拠点 (47オフィス・6工場・8ラボ)

国内 15社
海外 13社





ヘルスケアビジネスの進展

疾患予防・治療の研究開発から販売まで
総合的な支援の強化

社会的有益性の高い事業を通じた
サステナブルな社会への貢献





ヘルスケアビジネスの進展

- **PHR（パーソナルヘルスレコード）の蓄積と健康・疾患プラットフォームの構築**
 - **患者・家族・医師向け支援プラットフォーム「nanacara」を軸にした事業展開**
 - てんかん患者支援の薬局「nanacara薬局」を大阪に開設
 - 「nanacara」サービスの対象疾患を拡大
 - **健康・疾患データのプラットフォームを活用した事業の開拓**
 - harmo[®]やブロックチェーン技術等の基盤技術を利用した健康・疾患データ管理ソリューション（健康通帳[™]アプリ）の提供





ヘルスケアビジネスの進展

➤ ヘルスケアサービスの多様化

- 自治体支援業務の拡大

- 長野県伊那市のコミュニケーション促進実証事業において、会話AIロボット「Romi」(MIXI社)を活用した孤独孤立の軽減を推進

- 企業の「健康経営」を支援

- 運輸業界に向けて、薬や疾患による健康起因の運転事故を防ぐ電子おくすり手帳サービスを提供





ヘルスケアビジネスの進展



➤ 医療関連施設及び医療従事者等の支援強化

- 臨床試験支援の拡大
 - 地域医療の軸となる大学や基幹病院の支援を拡大
 - 疾患領域専門病院やアカデミアとの連携を強化
- ヘルスケアサービスの展開
 - 医療分野に特化したコンタクトセンターや服薬アドヒアランス向上支援



➤ ヘルスケア分野のBPO・人材サービスの拡大





疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

- **医薬品の開発から製造、営業・マーケティングまで総合的な支援 – PVCモデル –**
 - **革新的医薬品の創出に資する創薬プラットフォームの強化**
 - 海外バイオベンチャーの日本市場参入の総合コンサルティングを展開
 - 先端領域における創薬初期段階のサービス拡充のため、サルのオリジナル病態モデルを用いて、創薬候補物質の有効性を評価する「浜松ファーマリサーチ」を子会社化





疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

- **医薬品の開発から製造、営業・マーケティングまで総合的な支援 – PVCモデル**
 - CRO事業のグローバル展開加速
 - 臨床試験のDX化を推進
 - 海外CROとの連携
 - アウトソーシングの加速によるMR派遣業務の伸長





社会的有益性の高い事業を通じた サステナブルな社会への貢献



- **事業環境の変化にスピーディに対応できる経営基盤の構築**
 - 社員が自律的に発揮する価値（Personal Business Value）の向上
 - 多様な人材の早期育成・獲得
 - 評価制度や報酬体系の抜本的見直し
- **気候変動への取組み**
 - TCFD提言に沿った気候変動への対応
 - 地球環境への意識啓発
 - 第15回「国際児童絵画コンクール」・ワークショップ共催



連結損益計算書（要約）



	FY2023 Q1		FY2024 Q1		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	29,677	100.0	18,087	100.0	△11,590	△39.1
営業利益	4,270	14.4	944	5.2	△3,325	△77.9
経常利益	3,401	11.5	505	2.8	△2,896	△85.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,950	6.6	125	0.7	△1,824	△93.6
1株当たり 四半期純利益	111円73銭		7円42銭			

新型コロナウイルス感染症関連の自治体支援業務の減少と2023年6月シミックCMOグループの持分法適用関連会社化により、減収減益

営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



(百万円)

	FY2023 Q1	FY2024 Q1
営業外収益内訳	32	13
受取利息	1	0
助成金収入	11	3
その他	19	9
営業外費用内訳	901	452
支払利息	42	8
為替差損	816	93
持分法による投資損失	15	198
公開買付関連費用	—	148
その他	27	2

	FY2023 Q1	FY2024 Q1
特別損失内訳	25	4
固定資産除却損	13	—
投資有価証券売却損	—	4
投資有価証券評価損	11	—
法人税等	1,516	331
非支配株主に帰属する当期純損益	△91	43

報告セグメント別売上高および営業利益



		FY2023 Q1 (百万円)	FY2024 Q1 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	売上高	20,494	14,220	△6,274	△30.6
	営業利益	1,722	1,191	△530	△30.8
ヘルスケアソリューション	売上高	9,646	4,017	△5,629	△58.4
	営業利益	2,945	228	△2,716	△92.2
調整額	売上高	△463	△150	+313	—
	営業利益	△398	△476	△77	—
合計	売上高	29,677	18,087	△11,590	△39.1
	営業利益	4,270	944	△3,325	△77.9

* 調整額

売上高には、報告セグメント間取引の内部消去及び各報告セグメントに配分していない当社（持株会社）に係る売上高が含まれており、営業利益には、その売上高と、各報告セグメントへ配分していない当社（持株会社）に係る全社費用が含まれております。

製薬ソリューションは、シミックCMOグループの連結除外の影響により減収、連結除外と報酬水準引き上げに伴う労務費の増加等により減益
ヘルスケアソリューションは、新型コロナウイルス感染症関連の自治体支援業務の減少により、減収減益

受注高・受注残高



	FY2023 Q1		FY2024 Q1			
	受注高	受注残高	受注高	増減率	受注残高	増減率
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
製薬ソリューション	20,514	76,239	11,725	△42.8	66,820	△12.4
ヘルスケアソリューション	13,945	20,592	4,989	△64.2	15,604	△24.2
合計	34,460	96,832	16,715	△51.5	82,425	△14.9

製薬ソリューションは、シミックCMOグループの連結除外の影響により受注高及び受注残高が前年同期を下回る。前年同期の実績からシミックCMOグループの実績を控除した場合、当四半期の製薬ソリューションの受注高は前年同期比△13.2%、受注残高は△3.4%となる
ヘルスケアソリューションは、自治体向け大規模ワクチン接種案件の需要減少により受注高及び受注残高が前年同期を下回る

売上構成比



FY2023 Q1

ヘルスケアソリューション

32.0%

売上高

29,677百万円

製薬ソリューション

68.0%

営業利益 4,270百万円

営業利益率 14.4%

FY2024 Q1

ヘルスケアソリューション

22.0%

売上高

18,087百万円

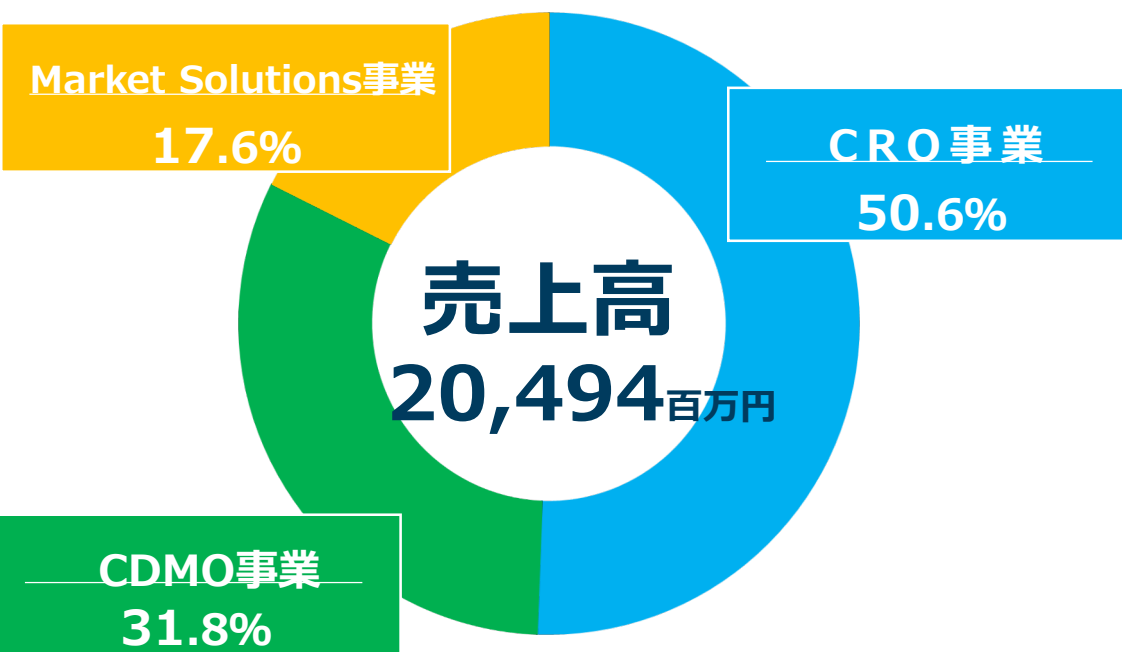
製薬ソリューション

78.0%

営業利益 944百万円

営業利益率 5.2%

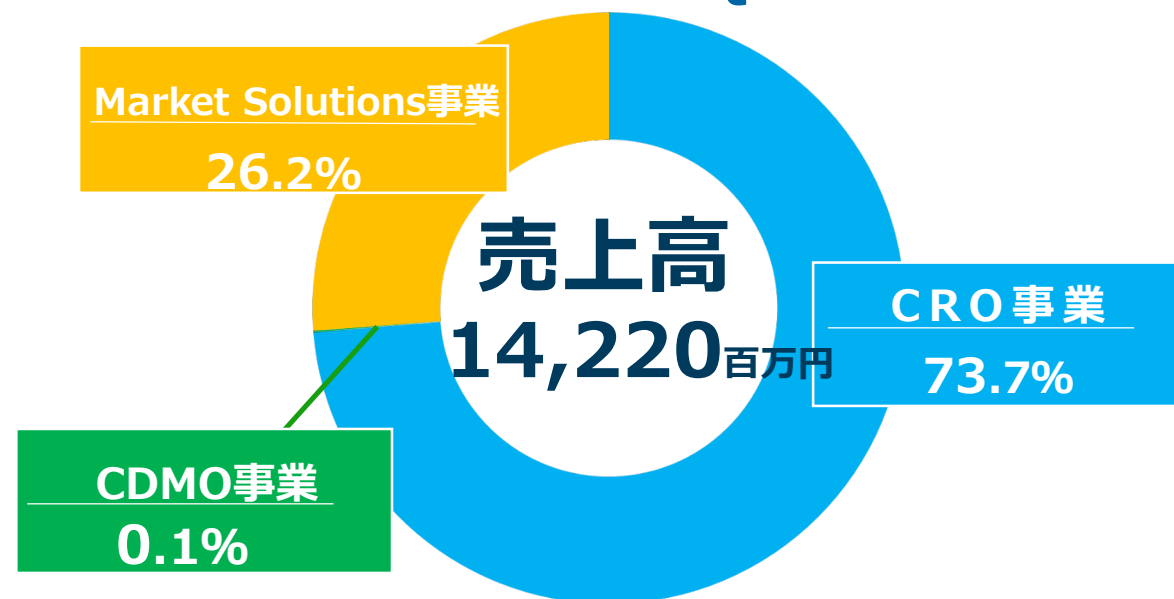
FY2023 Q1



営業利益 1,722百万円

営業利益率 8.4%

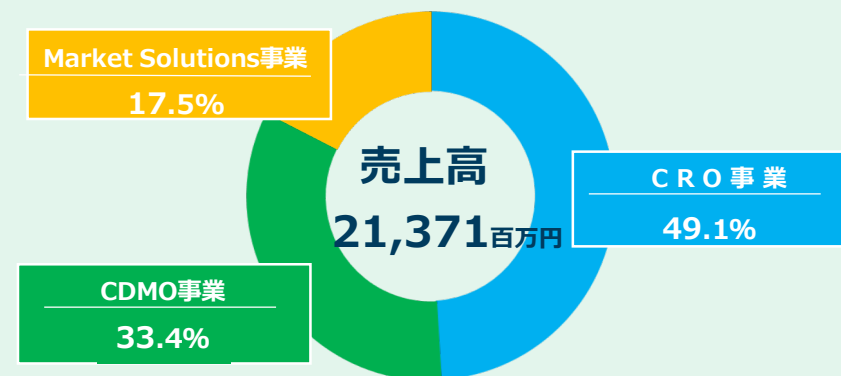
FY2024 Q1



営業利益 1,191百万円

営業利益率 8.4%

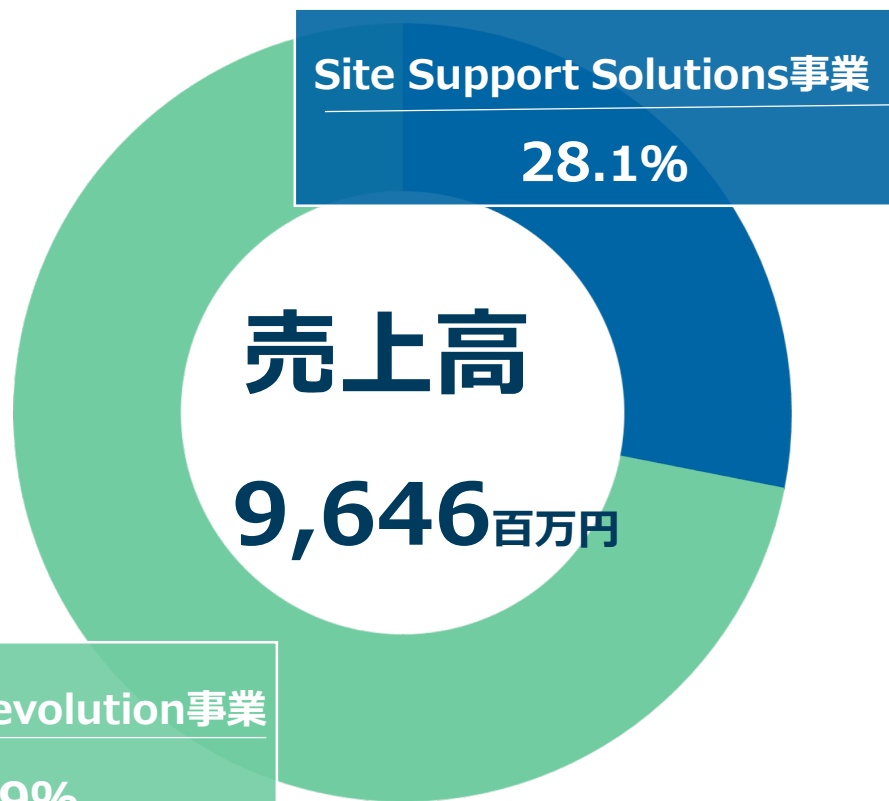
参考：持分法適用関連会社のシミックCMOグループを含めた場合



ヘルスケアソリューション 売上構成比

ヘルスケア
ソリューション

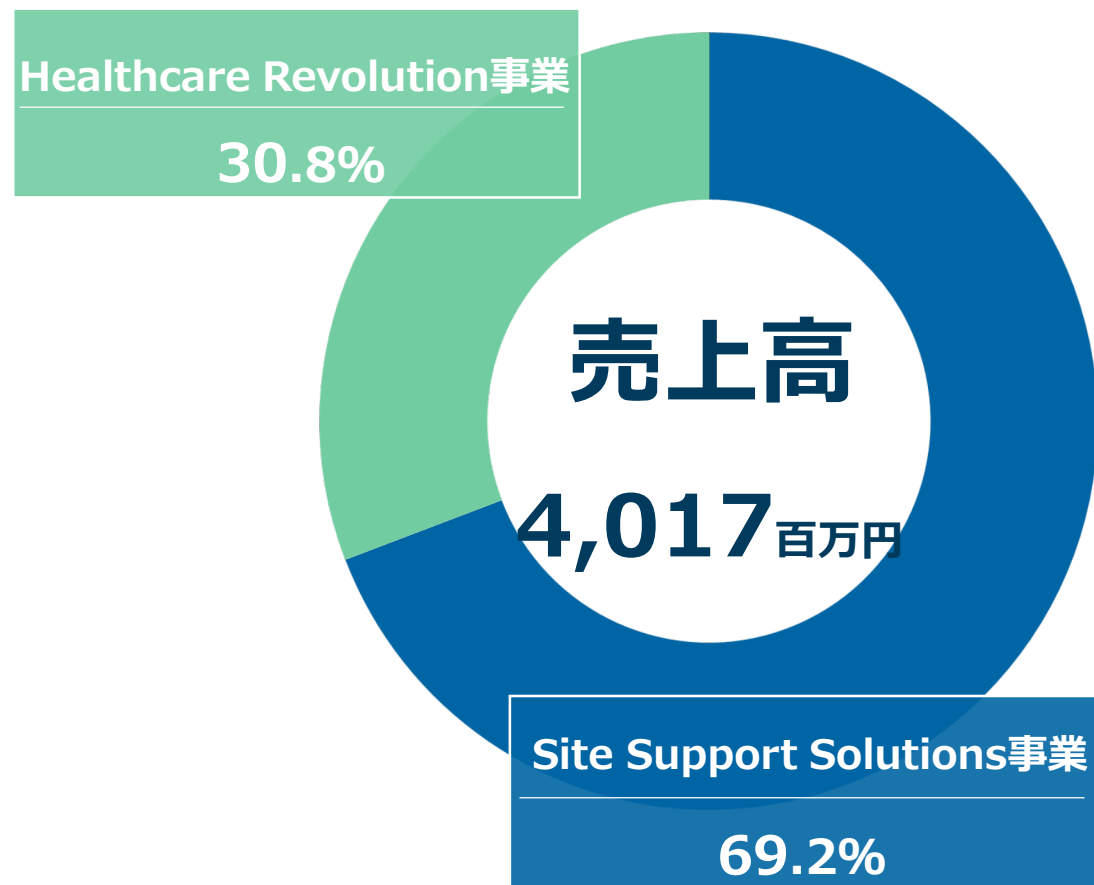
FY2023 Q1



営業利益 2,945百万円

営業利益率 30.5%

FY2024 Q1



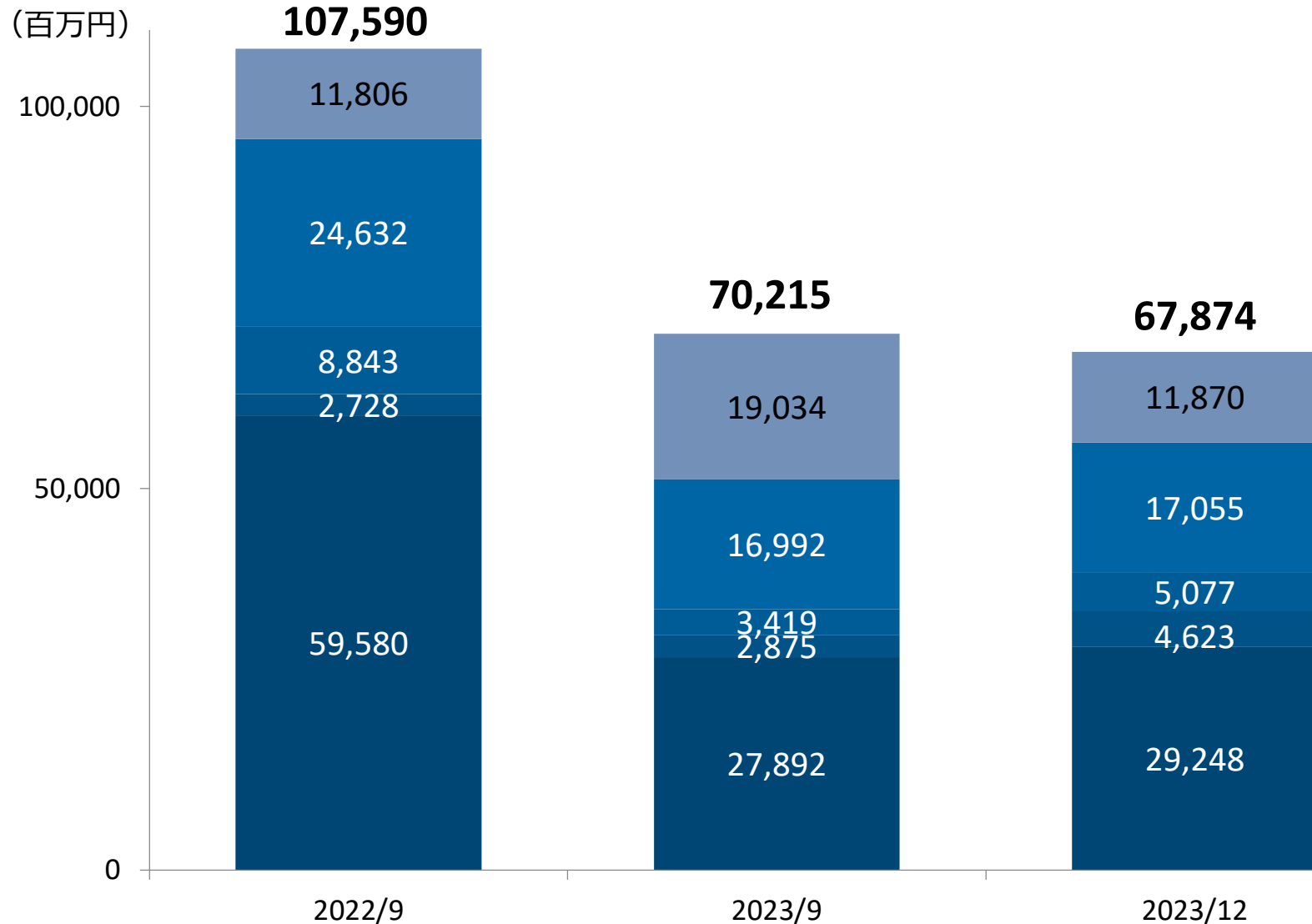
営業利益 228百万円

営業利益率 5.7%

連結貸借対照表（資産の部）



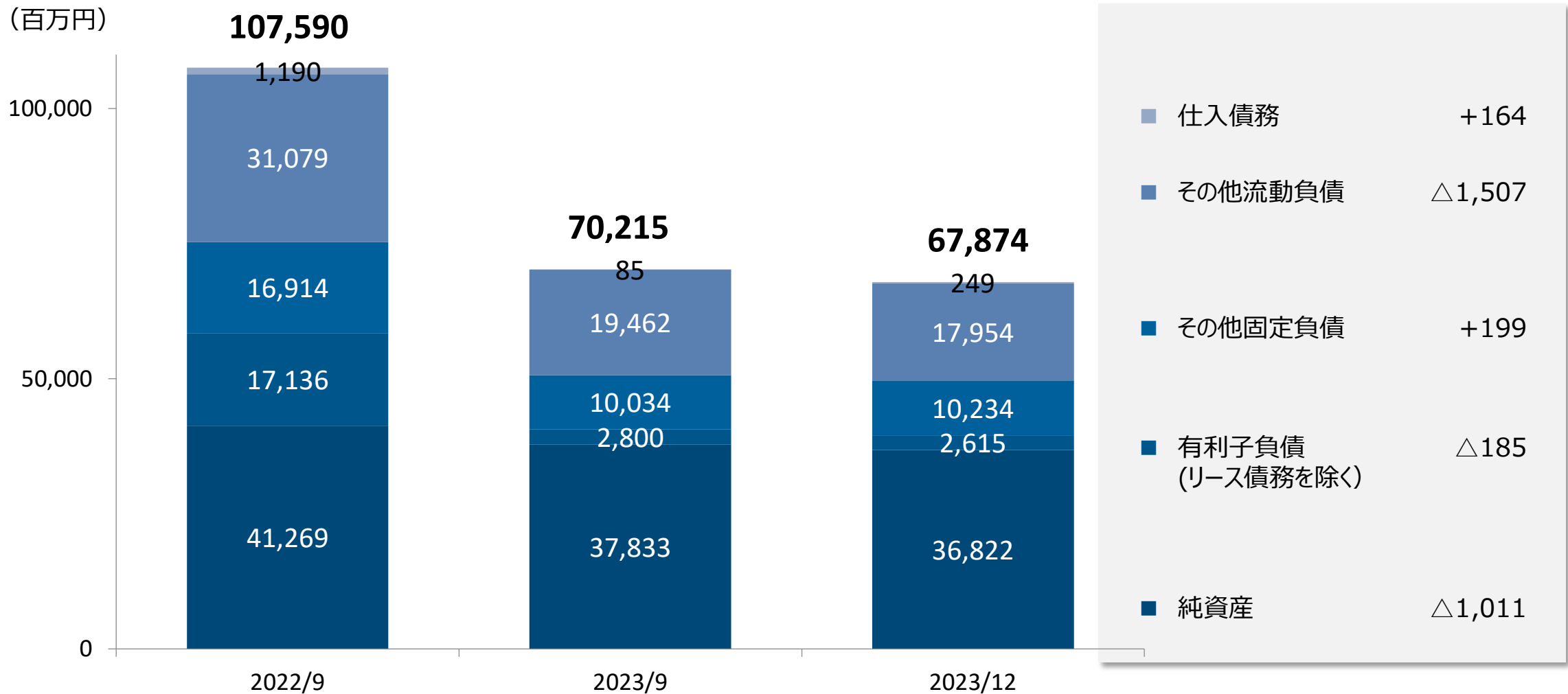
(百万円)



総資産	△2,340
■ 現預金	△7,164
■ 売上債権	+62
■ 棚卸資産	+1,657
■ その他流動資産	+1,747
■ 固定資産	+1,356

2023年9月期は、主にシミックCMOグループの持分法適用関連会社化に伴い、有形固定資産、売上債権、棚卸資産等が減少

連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



2023年9月期は、主にシミックCMOグループの持分法適用関連会社化に伴い、負債が減少



北杜マネージメントによる公開買付け結果と 今後のスケジュール



北杜マネージメントによる公開買付け結果と今後のスケジュール



- ✓ 2024年1月4日、北杜マネージメント（以下、公開買付者という）による当社普通株式の公開買付けが成立
- ✓ 公開買付者は、当社代表取締役会長 C E Oである中村和男氏により2023年10月2日付けで設立された会社で、いわゆるマネージメント・バイアウト（M B O）に該当
- ✓ 公開買付者は、公開買付けで取得できなかった株式を、スクイーズアウト手続き（株式併合）により取得予定
- ✓ 当社は、公開買付者の要請により、臨時株主総会において、株式併合及び株式併合の効力発生を条件として単元株式数の定めを廃止する旨の定款の一部変更を付議する予定
- ✓ 株式併合により1株未満の端数が生じるため、公開買付者は、3月29日（株式併合の効力発生日の前日）の株主名簿に記載された株主が所有する当社株式の数に、公開買付価格と同額の2,650円を乗じた金額に相当する金銭を交付予定
- ✓ 今後のスケジュール（予定）

3月 4日（月）	臨時株主総会開催日（株式併合とそれに伴う定款変更（発行可能株式総数））
3月 4日（月）	整理銘柄指定日
3月27日（水）	当社株式の売買最終日
3月28日（木）	上場廃止日
3月30日（土）	株式併合の効力発生日
- ✓ 詳細については、当社ウェブサイトの開示資料をご参照ください。



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

